

# 中山間地域の人口動態と災害リスクの関係性

岐阜大学 流域圏科学研究センター

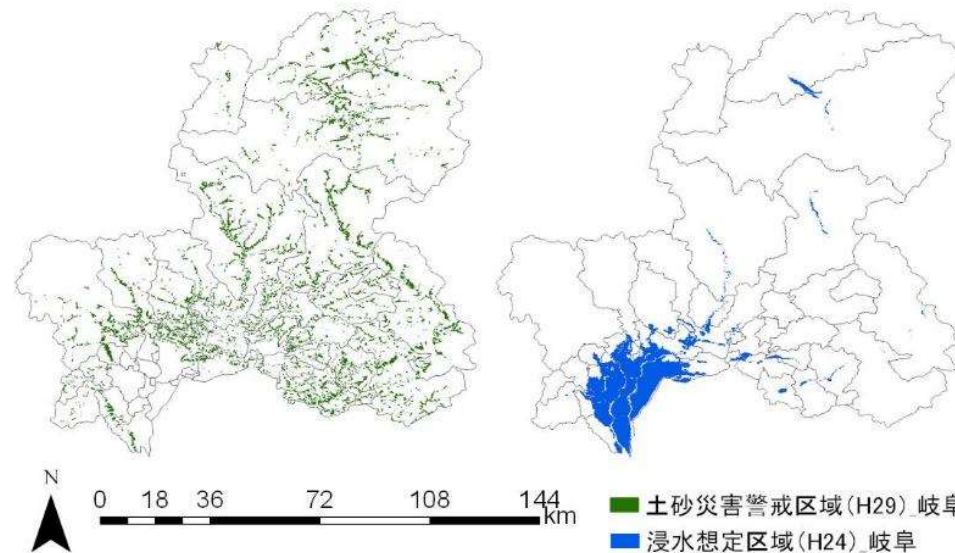
清流の国ぎふ 防災・減災センター

小山真紀

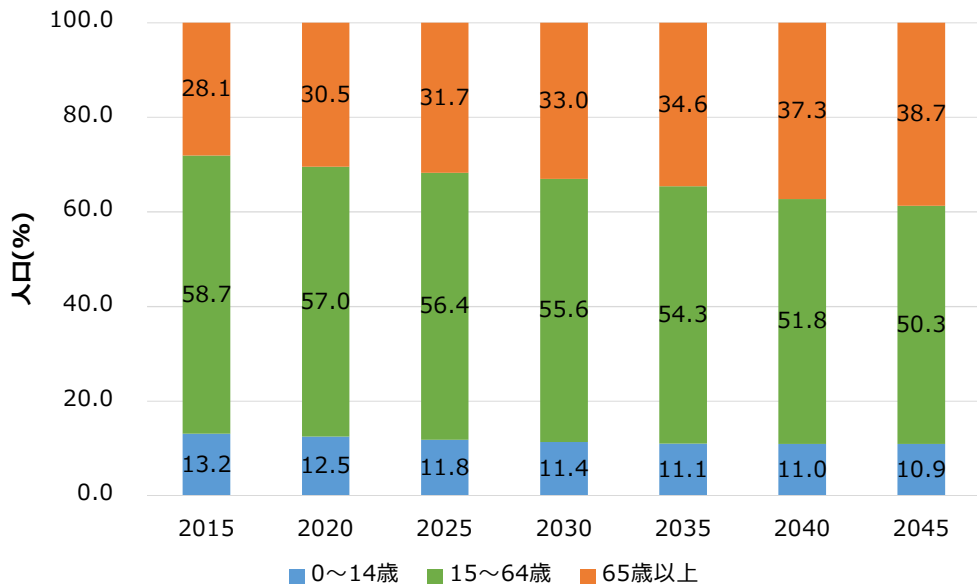
maki\_k@gifu-u.ac.jp

<https://www.facebook.com/maki.koyama.14>

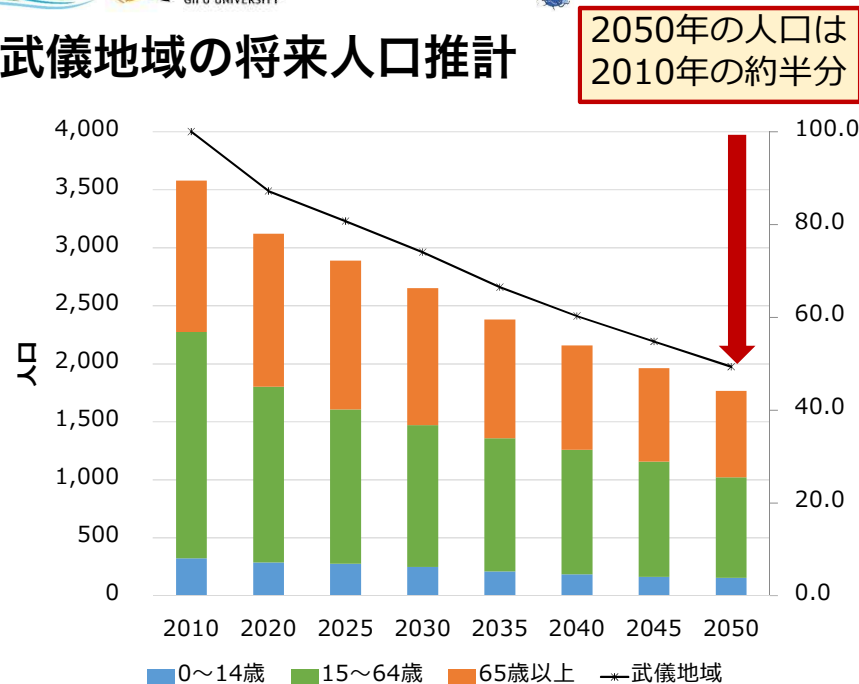
## 土砂災害警戒区域と浸水想定区域



## 岐阜県の将来人口推計



## 武儀地域の将来人口推計



# 警戒レベル

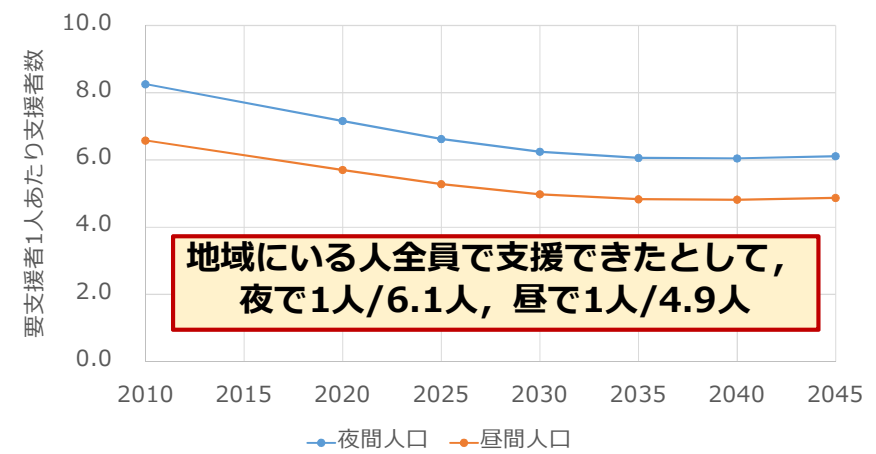
## 災害発生危険度



<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201906/2.html>

# 避難行動要支援者の推計

・避難行動要支援者を「未就学児」+「要介護認定者」+「障害者手帳等保持者」として推計すると・・・



2019年10月23日

## 政治マガジン

注目の発言集

# 新潟県中越地震から15年 地域の維持が課題

長岡市の山古志地区 15年間で人口が56%減少



災害による被害は、自然現象と、それを受ける地域社会の状況のあわせ技で決まる



<https://www.nhk.or.jp/politics/articles/statement/24681.html>

# まとめ

- ・気候変動によって、気象災害の頻度が高く、被害が大きくなる傾向がある
- ・岐阜県は少子高齢化が進んでいるが、中山間地は特にその傾向が高い
- ・気象災害から命を守るには、危険地域以外に住むか、安全なうちに避難することが必要。
  - ➡ 中山間地では安全な場所が少ない
- ・高齢者化が進むと、自力避難が難しい人が増えるため、安全なうちに避難できる支援が必要
  - ➡ 避難支援ができる人の減少
- ・災害が発生すると、少子高齢化・過疎化は加速する

数十年先を見越したまちづくり、事前復興を考慮した計画づくりが必要